

令和4年度第1回小平市環境配慮事業者連絡会報告書

■概要

日時：令和4年8月26日（金）午後2時～3時30分
場所：小平市役所502会議室またはWeb会議（Zoom）
出席：小平商工会、学校法人白梅学園、株式会社多摩グリーンサービス、
ルネサスエレクトロニクス株式会社、小平市（5事業者）

■次第

- (1) 国、都、市の省エネ、創エネ等の補助金の情報提供
- (2) 小平市第三次環境基本計画の策定について
- (3) 各事業所での省エネ対策等の意見交換
- (4) その他

■配布資料

- 資料1 環境配慮事業者連絡会参加事業者名簿
資料2 令和3年度省・創・蓄エネルギー機器等設置モニター助成制度募集要領
資料3 スライド資料『東京電力グループのカーボンニュートラルの取り組みについて』

■議事内容

- (1) 事務局より開会のあいさつ・情報提供
 - ・市の支援策「小平市省・創・蓄エネルギー機器等設置モニター助成制度募集要領」について説明。
 - ・東京都の支援策「エコサポート2022」について説明。
- (2) 情報提供『東京電力グループのカーボンニュートラルの取り組みについて』（東京電力パワーグリッド株式会社武蔵野支社 支社長 上田信也様）
 - ・国内外のカーボンニュートラル情勢理解や東京電力グループの取組について説明。

【質疑】電気料金の高騰が進んでいるが、料金が安くなる時間帯や有効な省エネや節電方法があれば教えて欲しい。

【回答】電気料金については基本的に、需要が増える時間帯である昼間から夜は料金が大きく、深夜から朝の時間帯は安いという設定になっている。事業所の動向を見ていると、少し前は深夜の時間に工場を稼働して、電気を使う等といった傾向も見られたが、最近は働き方改革の影響もあり、夜の時間帯に電気を使わない傾向にある。昼間については再エネ機器を導入したりして削減していくことが重要であると考えている。

- (3) 各事業所の省エネ対策等の意見交換

【小平商工会】

「できること」から始めたい。夏は職員にポロシャツを配布して暑さ対策をしている。今後も一人一人の意識を改革していきたいと感じた。

【多摩グリーンサービス】

緑地の管理をしており、二酸化炭素の吸収の観点からも必要なことであると感じている。排出の量が吸収だけではとても追いつかないので、自分たちにできることを考えると、通常はガソリンを使用する機器等を電気式にすることなどが必要だと感じた。

【ルネサスエレクトロニクス株式会社】

2050年カーボンニュートラル宣言をした。小平市内にある武蔵事業所についてもグリーン電力の購入や太陽光発電の導入を準備している。小平市と連携が取れていない部分もあるので、地元で何かできることはないか検討していきたい。

【小平市】

令和4年2月8日にゼロカーボンシティ宣言を行った。現在の小平市環境基本計画では2030年度時点で2013年度比30%の二酸化炭素排出量

の削減を目標としているが、現在、事業者へ委託して市の再エネのポテンシャル等の調査を行っている。調査の結果を受けて、削減目標値の見直し等を行う予定である。今後もゼロカーボンシティの実現を目指して事業者と協力して取り組みを進めていきたいと考えている。

(4) その他

- 小平市よりこだいら環境フェスティバル開催について案内。